

## 令和7年度 第2回 篠原中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月10日(月) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 篠原中学校 多目的室
- 3 出席委員 鈴木 幹夫、太田 一夫、河合 洋子、鈴木 幸子、津田 順子、鈴木 好治、  
鈴木 登志雄、鈴木 貴子
- 4 欠席委員 横井 詠子
- 5 オブザーバー 小笠原 正幸（篠原協働センター長）
- 6 学 校 内山 安史（校長）、太田 陽三（教頭）、鈴木 一輝（CS担当教員）、  
桔川 祐輝（生徒指導担当教員）、小嶋 慶（教務主任）、  
村松 佳寿子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 山本 俊行（学校・地域連携課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 村松 佳寿子

### 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、太田委員が、本日の議長を務める事を申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

#### （１）学校評価アンケートについて

- ・ グランドデザインの達成度をはかるための「評価項目」が適切か

#### （２）校則改正の必要性について

- ・ 生徒が「自己指導力」を身に付けるために、ふさわしい内容や入れた方がいい内容はあるか
- ・ 靴の色の自由化を例に、校則を変えていくことが地域の目にはどのように映るか

### 12 会議記録

司会の鈴木一輝から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

委員に学校の様子を知ってもらうため、各クラスの授業を参観。その後、多目的室に戻って協議。

#### （１）学校評価アンケート

議長の指示により、教務主任の小嶋から、資料に基づき学校評価アンケートについて説明があった。その後、2グループに分かれて協議。委員からは以下の発言があった。

【Aグループ：鈴木幹夫会長、鈴木幸子委員、鈴木登志雄委員、鈴木貴子委員】

・ アンケートは有意義なものだと思う。アンケートの際に添付されるグランドデザインは、目を通さなくてもアンケートの答えられてしまうので、保護者のグランドデザインへの理解が深まらない懸念がある。

【B グループ：太田委員、河合委員、津田委員、鈴木好治委員】

- ・アンケートとグラウンドデザインを結びつけるのは難しいのではないかと考えた。
- ・キャリア教育の内容がすべての保護者に周知されているとは思えないが、このアンケートを行うことで1年に1回でも、保護者にキャリア教育について認識してもらう良い機会になると思う。
- ・コミュニティスクールのことを認識していない保護者もいると思うが、アンケートをきっかけに再認識してもらえると良い。
- ・アンケートによって、学校への関心が高まり、学校を知るきっかけや親子で話すきっかけになると思う。

## （２）校則改正の必要性について

生徒指導担当の桔川から、資料に基づき校則改正の必要性について生徒協議会での意見や熟議の視点について説明があった。その後、先程と同じグループに分かれて協議、委員からは以下の発言があった。

【A グループ】

- ・生徒達が納得できる内容になっているか。自分たちがこうすることで周りからどう思われるか、自己責任であり、その点に関しては、事前に学校側からも指導して欲しい。
- ・体育の授業で自分のパフォーマンスを発揮できるものか、本人が理解したうえで変えていくことが大事。地域の年配の方は、すぐには受け入れられないことも考えられる。
- ・保護者側としては、経済的な事も考えて、親の意向も聞いて欲しい。

【B グループ】

- ・靴の色はある程度決まっていた方が、学校・生徒・保護者の三者ともやりやすいと思う。何でもありでは、納まりがつかなくなるのではないかと考えた。
- ・家庭の経済力によって差別が生じてしまうことがあってはならない。色や価格帯の目安があった方が良いのではないかと考えた。
- ・何でも自由になってしまうと、通学路で地域の方が小学生と中学生の見分けがつきにくくなってしまっているのではないかと考えた。

## その他報告事項等

- ・教頭から、部活動の地域展開についての現状報告があった。
- ・3年学年主任の山下から、1月と2月に行なう面接練習のご協力依頼があった。
- ・司会から次回は、令和8年1月26日（月）13時30分から多目的室で開催する旨の報告があった。